

## みんなで社会貢献 思いやりライトアクション ～11月11日(月)実施～

川西交差点の四つ角で、夕暮れ時にドライバーに早めのライトを働きかける「思いやりライトアクション」という活動に3年生が参加しました。おそろいの黄色のTシャツを着て、呼びかけのパネルを持って街頭に立ちました。ランチキャンパスで顔なじみの新潟大学の皆さんと出雲崎高校の生徒、町長様や警察の方々と一緒に、初めは恥ずかしそうでしたが、呼びかけに応じてライトをつけるドライバーが多く、みんな一生懸命活動しました。

活動を中心になって行っている新潟大学准教授の村山先生が、最後に「みんなで一つのことを一緒にやり、それが社会問題の解決につながるものが素晴らしいです」とおっしゃっていました。社会貢献につながる行動の機会があったら、これからも参加してほしいと思います。



## 町づくり提案発表を立派にやり遂げました

11月19日(火)の総合的な学習の時間に、出雲崎町議会の議員の皆様をはじめとする行政の方々に向けて、町づくり提案を行いました。参加された議員の皆様から、賞賛の声をいただくことができました。

各班の発表内容を、3階に上がる階段の所に掲示しました。明日から始まる三者面談の際にご覧いただきたいと思います。町づくり提案を終えた生徒の振り返りを次に紹介します。

私は町づくり提案で、出雲崎町のことを調べて、改めて出雲崎の良さに気がつくことができました。今までは、出雲崎の子育て支援や景色は普通のことだと思っていたけれど、調べてみたらそれは特別なもので良さを改めて実感しました。これからは出雲崎町の一員として、地域の行事に参加したり、近所の人とふれあったりして行きたいと思います。

自分の意見を周りに言って意見をもらうことで、自分の考えを深め、新しい考え方を取り入れることができるとわかったので、これからは周りとの意見交換をできるようにしたい。

僕は、議員さんとの話し合いを通じて、議員さんと僕たちとの考えが同じなこともあったけれど、違う見方が多いと思いました。今は、大人になっても、町の祭りやイベントなどに積極的に参加したい気持ちがあります。そして、町の人口が減っているので、高校の友達なども誘い、祭りを盛り上げたいです。

出雲崎町には課題がたくさんあることは知っていたけれど、きちんと出雲崎町について考えることは無かったから良い経験になった。

班のみんなで提案を考えると、自分ひとりでは思いつかないようなことがあったから、協力することは大切なことだと思った。意見を言い合いながら、提案について考えるのは楽しかった。一つの課題について追究する粘り強さを、これからの活動に生かしていきたい。

この学習で、出雲崎が今どのような状況なのかが分かったし、みんなと協力して課題を解決するためにどうするか考えるということも学んだ。これからの生活で、誰かと協力することを活かしていきたいと思った。

大学生と交流した時はすごくいい経験をしたと思った。自分たちより少し大人の人たちと話すと、自分とは違う視点の話を聞くことができました。とても面白かった。社会人として認められるまで、あと3年しかない中でも、多くのことを学び、その学びを心に留めて生きていきたいと思った。